

## 《WEB 特別記事》

## ホタルに会える？野川沿いの公園

「ホタルはいます」そんな話を5月初めに武蔵野公園で聞いた。この公園は、府中市と小金井市に跨った広大な敷地に多くの樹木と草が茂っていて、パンフレットでも紹介されているように武蔵野の原風景を感じることができる。中央には野川がゆっくり流れていて、小魚が飛び跳ねて遊んでいるとても長閑な公園だ。暑い日でも木陰には爽やかな風があってホタルにも住みやすい環境と見た。また、隣の野川公園の湧水には大粒のカワニナが数多くいたので益々期待が高まった。ここ数年、6月になるとホタル求めて国分寺の「お鷹の道」に行っている。大抵は空振りで、諦めて帰るのは当たり前と考えるようになっていたので、府中でホタルが簡単に見られるならすごうれしい。

季節の前倒しが著しい昨今、もう飛んでいるかも？と待ちきれず、翌週末の夕方、武蔵野公園に行ってみた。しかし、午後7時過ぎてもその気配は全く無かった。

1週間後、再度の挑戦をした。まず公園を一周したが見つからない。それで、野川公園の「自然観察園」付近に行ってみたら、川沿いに大勢の人が集まっている。今夜こそ願いが叶うと喜んだが、いつまで待っても「いた！見つけた！」などの声は無い。

皆さん黙々と川辺の草を掻き分けながら歩き回っている。ずいぶん粘ったが状況変化は期待出来ずで、武蔵野公園経由で帰ることにした。



この季節は7時過ぎても空は薄明るい。ホタルは現れなかったが、その代わりに久しぶりに夕方の空を飛ぶ蝙蝠を見た。

そして、6月になった。雨降りの翌日、今度は遅めの10時に行った。何回も来たので、隅々までお馴染みになった筈が、余りに暗くて何故か思い通りに川辺に辿り着けない。何回も袋小路に入って迷い、久しぶりに暗闇に恐怖を感じた。昼間とは全く違う顔の武蔵野公園も見られたが、ホタルは今夜も居ない様だ。いつものように空しく帰路についた時、野川に生い茂る草の間に一瞬小さな光を見た様な気がした。(竹村稔)

## 四季の花に彩られる自然観察園

桑がたわわに実る野川を下って野川公園の自然観察園を訪問すると、野草たちが出迎えてくれました。艶やかなクリンソウ、壊れそうなユキノシタ、可憐なサギゴケ、昔は子らに蜜を吸われたスイカズラ、見事に連なるナルコユリ、食べたくなりそうな赤い実をつけたウグイスカグラとヘビイチゴなどです。



私は度々訪れていますが、初夏には植生が変わって、蛍が中で光ったら透けて見えそうなホタルブクロ、虎の尾のようなオカトラノオ、木道わきにはピンクの愛らしい

シュウカイドウなどが見られます。

また秋にはヒガンバナ群生(左写真)があなたを魅了するでしょう。紅紫色の斑点が可愛いヤマホトトギス、薬草として有名なゲンノショウコ、ワレモコウなども楽しむことができます。個性的な実をつけるサネカズラ、足元には可憐なキチジョウソウ、源氏物語にも出てくるワレモコウなども楽しむことができます。

中でも私のお勧めは冬です。厳しい寒さのなか、節分の頃のセツブンソウ、早朝にしか見られないシモバシラ、紅白のヤブツバキなどが強い生命力、来たる春の喜びを感じさせてくれます。

このように野川沿い、そして観察園には心が癒される自然が溢れています。

あなたもぜひ訪れてみて下さい。(中濱敬文)